

第7回街づくりに関する提案の募集

【提案の概要】

「スメの寄合所」

対象敷地は、鹿児島県指宿市鰻地区。

鰻池に面した「スメ」と呼ばれる天然の蒸し器が存在する魅力的な地域です。

(スメは鰻地区の多くの家庭に存在し、家庭用のものと地区共同のものが存在します。)

しかし、高齢化や人口減少により空地・空き家が増加し、地区の存続が危ぶまれています。

空地・空き家化に存在していたスメは放置され、蒸気だけが噴出し続けています。

鰻地区の温泉やスメの蒸気には、アトピーなどの皮膚病への治療効果があります。

(生前の西郷隆盛も、治療を目的にこの鰻地区に一週間ほど滞在していました。)

この提案は、

空き家となった鰻地区の民家と、治療を目的とした長期滞在者へ貸し出し、放置されたスメが残る空地を整備し、地元住人と新しい滞在者とのコミュニティ空間(寄合所)とするというものです。

過疎地の地域コミュニティは、高齢化に伴い維持が困難な状況にあります。魅力ある地域コミュニティを生かし、地域の輪を少し広げた新たな集落が必要だと考えます。鰻集落は区営温泉、共同スメを目的とした訪問者が存在する魅力ある過疎地です。療養滞在者を取り込むことで、地域と外部を繋ぐ新たなコミュニティモデルを構想しました。そして、「スメ」を核に、[住人、滞在者、訪問者]による直接的な新たなコモンのための寄合所を提案します。

